

より高い安心をもたらす、 先進装備。

助手席側の死角をなくし「見える安心」をお届けするLaneWatch™。

Honda インターナビと
セットでメーカーオプション

助手席側ドアミラーの外側下部に装備したカメラの画像を、ナビ画面に表示。死角をカメラでサポートすることで、車線変更をはじめ、高速道路での合流時、左折時などに「見える安心」を提供。見落としによる事故の低減に寄与します。また前方視界から視線を大きく逸らすことなく後方側面の安全確認をすることができます。



[LaneWatch™の特徴]

■広範囲な視野

一般的な助手席側ドアミラーの視野範囲は水平方向で約20°。それに対しLaneWatch™では約80°まで確認が可能。3車線以上の道路でも、LaneWatch™なら、隣のさらに隣のレーンから来るクルマを見ることができます。

■広い視角を違和感なく確認

LaneWatch™ではカメラにECUを内蔵。独自の画像処理を行うことで、ドアミラーに近い見え方を実現。カメラの原画像に対して必要領域を切り出し、外側を圧縮。内側を拡大することで凸面鏡の見え方に近い鏡像を作り出し、さらにゆがみを補正して、ナビ画面に表示します。

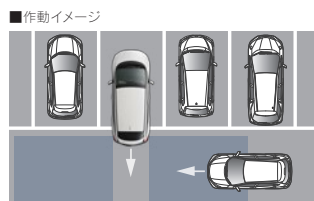
■3本の目安線を表示

車両後端から約0m、10m、20m*の位置に3本のガイドラインを表示し、後方車両との距離感をつかみやすくしています。
※距離は積載条件により異なります。

バック時の危険を軽減する、後退出庫サポート。

Honda インターナビと
セットでメーカーオプション

リアワイドカメラからの映像で、バックで出庫する際に見えるにくい側方からの接近車両を検知。音を鳴らすとともに、ナビ画面にお知らせ表示し、ドライバーに注意を促します。リアアクティブフォースペダルと連動し、アクセルペダルの反力によるお知らせも行います。

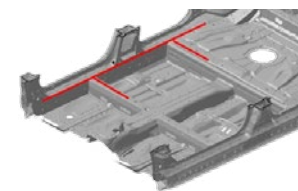


乗員はもとより、相手車両や歩行者にも 配慮した、Honda独自の安全性能。

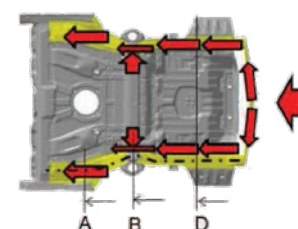
強固な生存空間の確保と最適なクラッシュアブルゾーンを両立した「コンパティビリティ対応ボディ」。

前面衝突に対しては、より強い衝突エネルギーをしっかりと受け止めるために、フロントサイドフレームやアッパーメンバーの強化、フロントピラーの補強を実施。フロントサイドフレームからの入力をフロアフレームで受け止める三つ又構造により、衝突エネルギーを効果的に吸収します。側面衝突に対しては、各部材の稜線同士をストレートにつなぐ効率的な構造の実現や、強度の高い素材を使うことで、衝突安全性を保ちながら重量を抑えています。乗員保護エリアまでの間隔が短い後面衝突に対しては、リアバンパービームを採用し、荷重が左右に分散しリアフレームに均等に伝わるロードパス構造に。さらにフレーム構造の最適化などにより、Honda史上最小ストロークで乗員保護のための生存空間を確保しています。

■側面衝突に対する稜線結合イメージ図



■ロードパス構造イメージ図

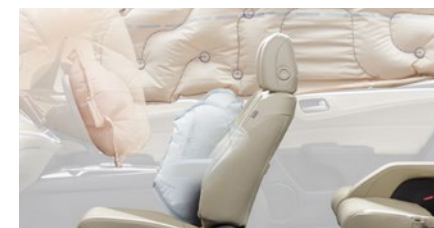


側面衝突時の安全性を確保する

i-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム。

全タイプ標準装備

1列目シート用i-サイドエアバッグシステムに加え、1・2列目からリアクォーターガラスまでをカバーするサイドカーテンエアバッグを装備。さらに頭部衝撃保護インテリアで、全席の乗員保護性能を追求しています。



[その他の安全装備]

- VSA(車両挙動安定化制御システム)
- エマージェンシーストップシグナル
- ヒルスタートアシスト機能
- 運転席用i-SRSエアバッグシステム(連続容量変化タイプ) & 助手席用i-SRSエアバッグシステム
- 頭部衝撃保護インテリア など